

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成5年8月10日

第19報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis incerta*</i>	40		○
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	20		
(藍) <i>Chroococcus dispersus*</i>	20		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	70		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	20		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	5		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	580	◎	
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	40		
(緑) <i>Schroederia judayi</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	280	○	◎
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	4		
(藍) 藍藻綱	80	6.5	19.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	1.6	0.5
(珪) 珪藻綱	110	8.9	10.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	5	0.4	12.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	660	53.3	19.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	364	29.4	37.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1239	総体積 (μm^3)	1.18E+06
種 類 数	15		

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし * 印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

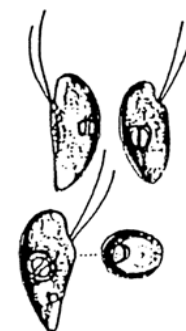
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Rhodomonas</i> sp.	580

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	280

植物プランクトン第1優占種



***Rhodomonas* sp.**
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約 $10\mu\text{m}$ と小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。
2本の鞭毛を有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。
琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。